

1 小学部志教育年間指導計画（低学年）

国語	「どうぞよろしく」【かかわる】 ・自分と、自分を取りまく人々とのかかわりに意識を向ける。 ・自分や周囲の人のよさを見つけ、相手に伝える。自分と自分を取り巻く人々とのかかわりに意識を向ける。 ・自分のこと、家族のことなどを紹介する。 ・他人の発表や評価を受けて、自分や他人のよい点を更に見つける。
生活	「出かけよう、さがそう、まちのたからもの」【かかわる】 ・学校の周囲の施設や人々に意識を向ける。 ・身近な人々とかかわることの楽しさを知る。 ・学校の周囲を探索し、どのような施設があるのか、インタビューしながら調べる。 ・学校の地域には、どのような人たちが住んだり働いたりしているかを知り、自分たちとのかかわりを考える。
体育	だれとでも仲良く運動をする【かかわる】 E ゲーム「(2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気をつけたりすることができるようにする。」 F 表現リズム遊び「(2) 運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。」を中心にする。 ・運動会に向けた陸上競技の単元・文化祭に向けた身体表現の単元・手具を使った運動の単元を中心に活動する。
道徳	1 主として自分自身に関すること【もとめる】 2 主として他の人とのかかわりに関すること【かかわる】 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。【はたす】 「1－(2) 自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりと行う。」 「2－(3) 友達と仲よくし、助け合う。」 「4－(2) 働くことのよさを感じて、みんなのために働く」 を中心にする。道徳の時間を中心に、学校における全教育活動を通して指導する。
特別活動	学級活動・学校行事【かかわる】 「学級活動」 ・仲よく助け合い学級生活を楽しくする。 「学校行事」 ・学校行事を通して、ほかの人と協力して活動しようとする・学級活動を中心に、児童の自発的、協力的な活動を展開する。 ・学校行事を中心に、異年齢集団による交流や学校外の人々とのふれあいなどの体験活動を持つ。
自立活動	2 心理的な安定「2－(1) 情緒の安定に関すること」「2－(2) 状況の理解と変化への対応に関すること」を中心にする。 3 人間関係の形成「3－(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること」「3－(2) 他者の意図や感情の理解に関すること」を中心にする。 ・各児童の計画による。

2 小学部志教育年間指導計画（中学年）

国語	「よい聞き手になろう／きちんとつたえるために」【かかわる】 ・だれもがかかり合えるように、相手や目的に応じ、筋道を立てて話したり、聞いたり、話し合ったりする。 ・相手や目的に応じ、工夫をしながら書こうとする。 ・相手の伝えたいことの中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を述べたりする。 ・自分の言いたいことを相手にきちんと伝えるために、落としてはいけない事柄が何かを考える。 ・相手や目的に応じて、話し方の工夫を考えて話したり書いたりできる。	
社会	「くらしをささえるまちではたらく人びと」「健康なくらしをささえる」「安全なくらしを守る」「地いきのはってんにつくした人々」【かかわる】【はたす】 ・地域社会の一員としての自覚を持つ。 ・地域社会に対する誇りと愛情を育てる。 ・地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解する。 ・地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解する。	
体育	協力、公正などの態度を育てる【かかわる】 最後まで努力して運動をする態度を育てる。【もとめる】 E ゲーム「(2) 運動に進んで取り組み、規律を守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気をつけたりすることができるようにする。」 F 表現運動「(2) 運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく練習や発表をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。」を中心にする。 運動会に向けた陸上競技の単元・文化祭に向けた身体表現の単元・手具を使った運動の単元を中心に活動する。	
道徳	1 主として自分自身に関すること【もとめる】 2 主として他の人とのかかわりに関すること【かかわる】 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること。【はたす】 「1－(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。」 「2－(2) だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。」 「4－(4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。」 を中心にする。・道徳の時間を中心に、学校における全教育活動を通して指導する。	
外国語活動	授業全体を通して、ALTとの交流を通して【かかわる】 ・外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。 ・日本と外国との言語、生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気づく。 ・異なる文化を持つ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深める。	
総合的な学習の時間		【かかわる】【もとめる】【はたす】設定した課題、計画による。
特別活動	学級活動・学校行事【かかわる】 「学級活動」・協力し合って楽しい学級生活をつくる。「学校行事」・学校行事を通して、ほかの人と協力して活動しようとする ・学校行事を中心に、異年齢集団による交流や学校外の人々とのふれあいなどの体験活動を持つ。	
自立活動	3 人間関係の形成「3－(2) 他者の意図や感情の理解に関すること」「3－(3) 自己の理解と行動の調整に関すること」を中心にする。児童ごとの計画による。	

3 小学部志教育年間指導計画（高学年）

国語	「きいて、きいて、きいてみよう」「話し合うために大切な言葉」「学級討論会をしよう」 「今、わたしは、ぼくは」【かかわる】 読書単元【もとめる】 ・ 計画的に話し合う。・ 目的や意図に応じて書く。・ 読書を通して考えを広げたり深めたりする。 ・ 目的や意図に応じて、考えたことや伝えたいことについての確にまとめて伝え合う。 ・ 目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えて書く。 ・ 目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む。
社会	「わたしたちの食生活と食料生産」「工業の発達と私たちの暮らし」「わたしたちの暮らしを支える情報」 「わたしたちの暮らしと政治」「世界の中の日本」【かかわる】【はたす】 ・ 自国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心を持つようにする。 ・ 平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚する。 ・ 自国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにする。 ・ 日常正確における政治の働きと自国の政治の考え方及び自国と関係の深い国の生活や国際社会における自国の役割を理解する。
家庭	「家庭生活と家族」「家庭生活と仕事」「家族や近隣の人とのかかわり」【かかわる】【はたす】 ・ 家庭には自分や家族の生活を支える仕事があることが分かり、自分の分担する仕事をする。 ・ 生活時間の有効な使い方を工夫し、家族に協力する。 ・ 家族とのふれあいや団らんを楽しくする工夫をする。 ・ 近隣の人々とのかかわりを考え、自分の家庭生活を工夫する。
体育	協力、公正などの態度を育てる【かかわる】 自己の最善を尽くして運動をする態度を育てる。【もとめる】 E ゲーム「(2) 運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気をつけたりすることができるようにする。」 F 表現リズム遊び「(2) 運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気をつけたりすることができるようにする。」を中心にする。 ・ 運動会に向けた陸上競技単元・文化祭に向けた身体表現の単元・手具を使った運動の単元を中心に活動する。
道徳	1 主として自分自身に関すること【もとめる】 2 主として他の人とかかわりに関すること【かかわる】 4 主として集団や社会とかかわりに関すること。【はたす】 「1－(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないで努力する。」 「2－(2) だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。」 「4－(4) 働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。」 を中心にする。 ・ 道徳の時間を中心に、学校における全教育活動を通して指導する。
外国語活動	授業全体を通して、ALTとの交流を通して【かかわる】 ・ 外国語を用いて積極的にコミュニケーションを図る。 ・ 日本と外国の言語や分化について、体験的に理解を深める。 ・ 積極的に外国語を聞いたり話したりする。 ・ 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。 ・ 日本と外国との言語、生活、習慣、行事などの違いを知り、多様なものの見方や考え方があることに気づく。 ・ 異なる文化を持つ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深める。

総合的な学習の時間		【かかわる】【もとめる】【はたす】設定した課題，計画による。
特別活動	学級活動・学校行事【かかわる】 「学級活動」 信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくる。 「学校行事」 学校行事を通して，ほかの人と協力して活動しようとする。・学級活動を中心に，児童の自発的，協力的な活動を展開する。 ・学校行事を中心に，異年齢集団による交流や学校外の人々とのふれあいなどの体験活動を持つ。	
自立活動	3 人間関係の形成 「3－（3） 自己の理解と行動の調整に関すること」 「3－（4） 集団への参加の基礎に関すること」を中心にする。・各児童の計画による。	

4 各学年の重点指導事項と取り組み

○各学年の重点指導事項

【かかわる】 友達や教師とのかかわりに始まり，社会の一員として自分らしさを生かしながら，豊かな社会生活を送るための基本的な態度を養う。

【もとめる】 学習や生活に目標を持ち，進んで取り組む姿勢を身に付け達成感を持ちながら学校生活を送ろうとする態度を養う。

【はたす】 学級や学部の役割を自覚し，進んで仕事に取り組む姿勢を身に付け，社会の一員として役割を果たすための基本的な態度を養う。

○低学年の取り組みの内容

- 1 基本的な生活習慣の確立をし，約束や決まり事を守る。
- 2 学習や生活の諸活動に見通しを持ち，教師の支援を受けながら，進んで活動しようとする。
- 3 自分の好きなことや得意なこと，できることを増やし，様々な事柄に対して興味関心を高める。

○中学年の取り組みの内容

- 1 学習や生活の諸活動に見通しを持ち，目標達成のために努力しようとする。
- 2 自分の持ち味や役割を自覚し，良い面を伸ばそうとする意識を高める。
- 3 共同活動の仕方や仲間関係の在り方について考える。

○高学年の取り組みの内容

- 1 学部の友達と協力しながら，自分の役割を確実に担い，集団の目標達成をしようとする。
- 2 夢や目標をもち，学習や体験活動を通して，将来の生活や仕事について考える。
- 3 自分の在り方、生き方について，主体的に探求する。